



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

台風などの風水害へ
日頃からの備えを

西日本を中心に降り続き、中国・四国地方に大きな被害をもたらした7月上旬の記録的な大雨を、気象庁は「平成30年7月豪雨」と名付けました。南あわじ市でも7月4日(水)の夜遅くから降雨が続き、論鶴羽の雨量計では計500ミリを超える雨量が観測され、7月8日(日)には市に土砂災害警戒情報が発表されました。

ため池からの漏水や、土砂災害発生のおそれから、市も一部地域に避難指示等を発令しました。幸いにして人的被害は発生しませんでした。避難をされた方は、不安な思いで過ごされたのではないかと思います。

また、島外や市外から南あわじ市に訪れていた方も含め、一人でも多くの方に情報を伝えるべく、防災行政無線の戸別受信機のほか、携帯電話各社の緊急速報メール機能を使い、市内の携帯電話エリア内におられる方全てに避難情報を発信しました。突然の携帯電話の警報音に驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。

今は梅雨明けし、夏本番を迎えておりますが、今後は、台風シーズンを控えており油断はできません。南あわじ市に大きな被害をもたらした平成16年の台風23号災害は、



風水害への日頃の備えに、非常持ち出し品を準備しましょう。

夏も過ぎた10月の台風が原因でした。

加えて、最近は、ごく狭い範囲に短時間で強い雨が降る「局地的大雨」や、激しい雨が数時間にわたって降り続く「集中豪雨」などによって起きる災害も増えています。こうした雨は狭い地域で突発的に降るため、台風と違って発生の予測は難しく、突然に状況が変わるため、十分注意が必要です。

風水害への日頃の備えとして、雨が始まる前にしておくべきことがあります。①懐中電灯、ラジオ、常備薬、飲食物などの非常持ち出し品の準備、②屋外設置物が風に飛ばされないようにしっかりと固定、③側溝などの掃除、④避難場所と避難ルートの確認、です。そして、いざ避難ですが、避難勧告等が発令されていなくても、危険な場所にいる場合や、避難に時間がかかる場合は、早めに安全な場所への自主避難が大切です。一方、大雨時や浸水している中、また夜間の避難は、側溝に転落するおそれがあるなど危険を伴います。無理に避難をするよりも、自宅の高い階に避難した方が安全な場合もありますので、周りの状況を慎重に判断して行動してください。できれば大雨時の就寝は、頑丈な建物の2階以上、山とは反対側の部屋をお勧めします。

雨は災いをもたらすこともありますが、恵みをもたらしてくれるものです。豊かな自然の中で恵みに感謝しつつ、災いを小さくしていくための工夫と努力を続けていきましょう。

学校給食で地産地消の取り組み
ハモのメニューを提供

学校給食に地場食材を利用し、地産地消による食育の推進を目的に、7月3日、市内の幼小中学校の給食でハモを使ったメニューが提供されました。

この日、学校給食センターでは4151食分の「ハモの天ぷら」を、沼島学校給食センターでは43食分の「ハモの揚げ出しあんかけ」を調理し、各幼小中学校へ提供。辰美小学校1年の素川美瑚さんは「魚は苦手だけど、地元のハモを初めて食べて美味しかった」と話してくれました。



ハモの天ぷらを美味しく食べている辰美小学校の児童ら



㈱イズミフードマシナリと災害時等における応援協定を締結

災害時等における応援協定
㈱イズミフードマシナリと締結

7月9日、株式会社イズミフードマシナリ(尼崎市所在)と災害時等における物資の提供に関する協定を締結しました。この協定により、災害発生時または災害発生時の恐れがある場合等において、同社が当市に不織布毛布250枚を無償で提供します。

吉本圭司取締役社長は

「淡路工場を広田に置いて93年。地域の環境保全や災害応援などにこれからも貢献したい」と話し、守本市長は「災害の規模が大きくなれば物資が不足する。避難された方が寝泊まりするための不織布毛布を災害時に提供していただけることは心強く、ありがたい」と感謝しました。

地域創成生涯学習講座 ※要申込・参加無料

吉備国際大学では地域の皆様を対象に「地域創成生涯学習講座」を開講しております。本年度は、「醸造・発酵」と「健康・福祉」をテーマに全6回の講座を開講します。

皆さまお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

場所 同大キャンパス内大講義室 (C棟3階)

申込み・問合せ 同大地域連携センター ☎ 42-4708

<醸造・発酵編>

①醸造食品は健康を増進する

日時：9月7日(金) 午前10時30分～正午
講師：農学部 醸造学科 教授 金沢 和樹

②身近な発酵産業

日時：9月14日(金) 午前10時30分～正午
講師：農学部 醸造学科 教授 福田 恵温

③お酒は狂い水が百薬の長か？

日時：9月21日(金) 午前10時30分～正午
講師：農学部 醸造学科 教授 井上 守正



吉備国際大学からのお知らせ

<健康・福祉編>

④小児の診療を翻弄しているインフルエンザのあれこれ

日時：10月18日(木) 午後1時30分～3時
講師：保健医療福祉学部 看護学科 教授 寺崎 智行

⑤認知症予防の運動と生活習慣

日時：10月22日(月) 午後1時30分～3時
講師：保健医療福祉学部 理学療法学科 准教授 森下 元賀

⑥「し忘れ」の原因と対応について

日時：10月30日(火) 午後1時30分～3時
講師：保健医療福祉学部 作業療法学科 講師 狩長 弘親



模擬屋台で交流を深める子どもたち

放課後子ども教室と放課後児童クラブ(学童保育)の一体型事業を開始しました。市内に5か所ある同教室では、放課後に児童らが地域の方々の参画を得て、スポーツや文化など多様な体験活動を行っています。また、市内13か所ある同クラブは、保護者が共働き等の理由で昼間家庭にいない児童を対象に遊びや生活の場を提供しており、この2つの事業が連携し、子ども教室のプログラムを通じて児童らの交流を深めることで、より効果的な子どもた

ちの健全な育成を目指しています。7月2日、湊小学校内で行われた一体型事業では、「なつまつりごっこ」を通じて同教室に通う11人と、同クラブの5人が交流。児童らはチケットを手に持ち、ヨーヨーつりやシャボン玉などで遊んだり、かき氷を食べたりして、祭りの模擬屋台を楽しく体験していました。



放課後子ども教室と放課後児童クラブが連携
充実した体験プログラムを実施